

大規模災害対応 BCP防災備蓄 導入・運用サポートのご提案

～選定・保管・管理・更新をワンストップで解決～

星野総合商事株式会社

防災備蓄の「4つの課題」を解決

① 選定

何をどれだけ？



② 保管

場所がない



③ 管理

期限管理が面倒



④ 処分

廃棄コスト増



【選定】実用性とコストの最適化プラン

事業所待機者用 (3-7日)

- 水・食料 (温かい食事)
- 衛生対策 (凝固剤・処理袋)
- 仮眠セット・情報収集ツール

Point: トイレは個室確保と
1日7-10回分の処理セットを用意

帰宅困難者用 (徒歩帰宅)

- 20km圏内の徒歩帰宅を想定
- 両手が空くナップザック
- 水・食料・ヘッドライト

Point: 必要最小限の軽量セット

【保管】デッドスペース活用と法令遵守

■オフィスの景観を損なわない

- ・会議室や廊下の隅をパーテイションで目隠し
- ・屋上(特殊倉庫)や地下駐車場(5m×2.5m)の活用

■消防法完全対応で安心

- ・廊下幅、排煙、スプリンクラー基準をクリアした設計
- ・違法レイアウトのリスクを回避

【管理・更新】手間ゼロ & SDGs



「捨てる」から「活かす」へ
廃棄コストを削減し、社会貢献につなげます

まずは無料診断からスタート

- ？ 現在のオフィスレイアウト図面を確認
- ？ 最適な備蓄品と設置場所をご提案
- ？ 法令チェックと見積もり提示

星野総合商事株式会社 BCPサポートチーム

中堅成長企業殿向けBCP備蓄導入サービスご提案書

BCP備蓄は適切な管理と活用による事業継続性の方針の一部と
災害に対する将来の不確実性に備えるための保険でありBCPで
コストではなく利益を生む戦略です

作成日：2024年03月05日

更新日：2024年05月15日

作成者：星野総合商事株式会社

版 数：V01L09

BCPの課題

災害や事故などの緊急事態発生時の事業継続でBCP備蓄業務に多くの課題を抱えている

備蓄品目や数量の選定、保管場所、定期的な点検、備蓄品の期限管理、補充の負担

解決策

具体的な対応人数・日数、備蓄品目・数量のリスト、負担軽減の為の点検・補充の選定

備蓄品の使用状況の把握、賞味期限・点検・補充を管理するシステム

効率的な保管場所の確保、導入スケジュール、コストパフォーマンスを考慮した費用を検討



BCP備蓄業務で事業所ごとの備蓄するアイテムに何が必要か

1

どのくらいの日数とどの備蓄品を選択すれば良いか？、対象人数は何人か？
各業種別のユーザに待機者・帰宅者用に最適な備蓄品のご提案

2

保管スペースをどう確保するか？：
ユーザの条件に合った保管方法のご提案（各種ビル内、工場や地上の土地）

3

備蓄品の期限管理及び管理をどうするか？、誰がやるか？：
備蓄備品管理クラウドシステム（保存期限自動メール通知・備蓄品管理台帳利用）

4

期限切れのアイテムの処分や使用済みの廃棄処理方法：
賞味期限前に無料で引き取りフードロスゼロに貢献場所を検討

※期限切れの前に社員に配布するか子ども食堂、フードバンクへ寄付し社会貢献



発災時、待機者・帰宅者・帰宅困難者への備蓄の提案

- 待機者の3～7日分の水・食糧・トイレなど最低限必要なものを備蓄する。
温かい食料や飽きの来ない備蓄食料、救助セット、救急医療セット、夜間の照明、ラジオなど情報収集できる事、スマートフォンの充電など蓄電池など追加すると運用方法を検討する充実した備蓄品では安心ですがやはりコストがかかります 予算内のコスパを考慮して選定
- 徒歩の帰宅者に対しては、徒歩20km以内でナップザックに水・食料・簡易トイレ、ヘッドライト、ラジオ、カッパなど必要に応じた商品を帰宅するまで両手が空いて行動し帰宅
- 保管場所
テナントビルや自社ビルなどは、1部屋分を備蓄庫とするか地下駐車場の車1台分のスペースで仮設防災倉庫を設置しそこへ備蓄を行う 尚、発災時に自家発電機の稼働であれば24～72時間以内に自社のフロアへ備蓄品を搬入する。自家発電機の燃料の備蓄量は最大72時間と消防法で決められているので、あらかじめ自家発電機の稼働時間を確認する必要があります
- 防災倉庫やレンタル倉庫などの外部施設の活用も検討
備蓄倉庫の備蓄品を人数と待機者、帰宅者を分けて運用方法を再検討をしましょう



備蓄に必要なベースとなるもの

- 例として100人以上のユーザで3日～7日間待機者に発災後の事業を継続できるようにします
(待機者30%、帰宅者70%の場合や対応期間を短期と必要なものだけであればコストを抑えられます)
- ユーザの業種に合わせた食料・水・トイレのパッケージ化並びに追加オプションを設定します
水の保存期限は5～15年選択可能で一人当たり1日3Lが必要です 収納場所が限られている場合は1.5Lとします
- ビル内で共同のトイレの場合は必ず自社内の専用のトイレの個室を用意し男女別々に設置する
トイレは1セット100回分で、個室で使用できるタイプと一般的な洋式トイレを選択する
トイレの回数や個数は待機者の人数と日数を計算してください
テナントビルの場合共同トイレは他社の社員も使用するのであらかじめどう運用するのか事前に検討が必要です
1社だけの場合はトイレ設置を屋内、屋外とあらかじめ決めておきその環境に見合ったものを用意する
トイレの個数についてはスフィア基準に合わせたトイレの数をできればそろえて備蓄しましょう
(20人に1基の割合で男女比率も男性1に対し女性は3基です)
又、トイレットペーパも必要数と備蓄が出来る10年保存を選択
衛生管理や体調管理でも普段と変わらないような使用方法を検討しましょう
- その他のオプションは、非常用発電機が停止した後や情報収集の為のFMラジオ、夜間の明かりの確保、懐中電灯、仮眠できる場所、生活用水など人がストレスなく事業を続けいける生活用品が必要です
他にトイレなどの匂いや除菌ができる災害時衛生対策除用強力除菌消臭スプレーセット(6年保存)があります



運用方法

- 備蓄品

食糧：保存期限が5年～7年となるので期限切れになる前に再度購入が必要

水：保存期限が5年～15年となるので期限切れになる前に再度購入が必要

真空パック毛布：10年でリパック（再度クリーニング後真空パック加工20年で再度購入）

救急箱：期限付きの消毒液等（最低2～3年）の更新

乾電池：10年で期限切れになるので再度購入が必要

蓄電池：リチウムイオン電池は定期的に充電を行いおよそ5～8年で再度購入が必要

生理用品：10年で再度購入が必要

トイレ：10年で再度購入が必要

- 備蓄品の期限管理：備蓄備品管理クラウドシステムを利用（無料）すれば期限切れの前に2回期限切れお知らせメールを自動送信します

- 発災時：社内待機者と帰宅者をどうするかの検討が必要です その場合帰宅者の為の

帰宅困難者にならないように簡易セットが必要です

（帰宅の距離に合った分のカロリー補給できる食品、水500cc以上、雨具、マスク、ナップザック、FMラジオ、懐中電灯、簡易トイレ等）

- 救助工具セット：怪我をされた社員の救護や瓦礫等の下敷きになった要救助者の救助の為の対応

- 被災時の為に：誘導・食糧配布・炊飯・要救助を円滑に行える為に、簡易的に組織化が必要と思われる。又、年1回の防災訓練も必要



備蓄品の置くスペース

- 広い敷地がある場合は防災倉庫を設置できますが無い場合は屋内か地下駐車場の車1台分のスペースに防災倉庫を設置できます サイズ (5m×2.5~3.0m)
但し、ゲリラ豪雨や線状降水帯などの大雨で地上や地下が冠水しないよう予め検討する必要があります
防災倉庫の設置には建築確認、基礎工事、搬入、倉庫設置全て弊社にて対応できます
- 会議室や個室のスペースを利用か机のレイアウトを変更し収納スペースを確保する。
備蓄品の段ボールを収納し 2 m迄のパーティションで囲い目隠しをする。
※“オフィスレイアウトの消防法違反事例について”の添付資料を参照
- 屋外で場所があっても都市計画区域内で準防火地域の場合防火対応型防災倉庫を設置
- 各テナントの会社同士が共同で空きテナントの賃料を負担して備蓄スペースとして使う
共同で備蓄する会社の B C P をまとめて囲い込む
- 防災倉庫の設置並びに屋内スペースがない場合はレンタル倉庫を検討
- ビル地下に専用の備蓄庫がある場合は、発災時非常用発電機が 24 ~ 72 時間で停止及び発災時にエレベータも停止するので地下から備蓄品を自分のオフィスへ運ぶ事を検討





備蓄品の100人として備蓄商品の提案例

(下記の表の価格は定価です ご予算に合わせてお見積りいたします)

- ・水は保管場所の節約を考えて1日一人1.5L×1本（アルファー化米用に約200cc×3食/日で600cc使用）

食糧7~8年保存3日分C案(定価)レトルト保存食なのでそのまま食べられます						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	永谷園五目リゾゴはん、7年保存	450	食	540	243,000	3食分
2	永谷園カレーリゾゴはん、8年保存	450	食	540	243,000	3食分
3	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	38	箱	2,760	104,880	1日(人×1本)、5年保存
					合計	590,880

食糧5年保存3日分B案(定価):お湯で15分水で1時間						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	尾西アルファー化米わかめご飯	200	食	453	90,600	2食分
2	尾西アルファー化米ドライカレー	200	食	492	98,400	2食分
3	尾西アルファー化米山菜おこわ	200	食	544	108,800	2食分
4	尾西アルファー化米エビピラフ	200	食	544	108,800	2食分
5	尾西アルファー化米松茸ご飯	100	食	570	57,000	1食分
6	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	38	箱	2,760	104,880	1日(人×1本)、5年保存
					合計	568,480

食糧7年保存3日分C案(定価)レトルト保存食なのでそのまま食べられます						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	レトルト五目ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
2	レトルト野菜ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
3	レトルト海鮮カレーご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
4	レトルト和風鯛ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
5	レトルト洋風トマトご飯、保存期限7年	100	食	704	70,400	1食分
6	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	38	箱	2,760	104,880	1日(人×1本)、5年保存
					合計	738,480

・水は一般的に1日一人3L必要となります（アルファ化米用に約200cc×3食/日で600cc使用）

食糧7~8年保存3日分C案(定価)レトルト保存食なのでそのまま食べられます						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	永谷園五目リゾゴはん、7年保存	450	食	540	243,000	3食分
2	永谷園カレーリゾゴはん、8年保存	450	食	540	243,000	3食分
3	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	75	箱	2,760	207,000	1日(人×1本)、5年保存
					合計	693,000

食糧5年保存3日分B案(定価):お湯で15分水で1時間						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	尾西アルファー化米わかめご飯	200	食	453	90,600	2食分
2	尾西アルファー化米ドライカレー	200	食	492	98,400	2食分
3	尾西アルファー化米山菜おこわ	200	食	544	108,800	2食分
4	尾西アルファー化米エビピラフ	200	食	544	108,800	2食分
5	尾西アルファー化米松茸ご飯	100	食	570	57,000	1食分
6	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	75	箱	2,760	207,000	1日(人×2本)、5年保存
					合計	670,600

食糧7年保存3日分C案(定価)レトルト保存食なのでそのまま食べられます						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	レトルト五目ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
2	レトルト野菜ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
3	レトルト海鮮カレーご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
4	レトルト和風鯛ご飯、保存期限7年	200	食	704	140,800	2食分
5	レトルト洋風トマトご飯、保存期限7年	100	食	704	70,400	1食分
6	富士山麓の保存水1.5L、1箱8本入り	75	箱	2,760	207,000	1日(人×2本)、5年保存
					合計	840,600

・追加パッケージ（必要に応じていろいろな数量やアイテムを選択できます）

トイレ個室セット						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	クリーンSH-Zトイレ100回分	4	台	22,440	89,760	男女1個づつ(1日6回想定)
2	トイレ100回分消耗品セット、消臭凝固剤入り	14	個	15,510	217,140	説明書:日本語&英語
3	汚物収納用消臭袋	20	個	5,500	110,000	収納収縮袋、ふいご付き
4	トイレワンタッチテントSH-11	4	個	25,850	103,400	男女1室づつ
5	10年保存トイレットペーパー(12ロール)	10	箱	3,960	39,600	1ロール:一般の4倍の200m
					合計	559,900

トイレ洋式セット						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	クリーンSH100洋式100回分	18	箱	18,700	336,600	既存の洋式トイレに使用
	抗菌凝固剤アルミパック7g × 100個、収納用消臭袋 × 10枚、説明書:日本語&英語&中国語&韓国語					
2	10年保存トイレットペーパー(12ロール)	10	箱	3,600	36,000	1ロール:一般の4倍の200m
					合計	372,600

救急・救助セット						
No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	50人用大型救急箱アルミケース入り	2	個	64,900	129,800	
2	背負い式救助セット	2	個	55,000	110,000	
3	スーパーアラミド繊維薄手袋	20	双	935	18,700	カッターでも切れない
4	折りたたみヘルメットIZANO	20	箱	7,748	154,960	材質:ABS
5	コンパクト担架(不織布折畳むと1Lボトル)	5	枚	4,400	22,000	折り畳み場所いらず
6	安全スニーカー	20	足	7,920	158,400	先端:鋼製先芯
					合計	593,860

▶ 夜間照明セット

No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	スーパーLEDランタン(単1×4本、45時間)	4	個	5,500	22,000	メイン室内用
2	お灯さん(単3×4本、12時間)	4	個	3,740	14,960	ランタンとして(磁石付きで金属に設置可)
3	ナイトスター懐中電灯振るだけで発電	5	本	15,246	76,230	保存期限10年、電池不要
4	LED懐中電灯(単3×3本使用)	20	本	1,267	25,340	
5	アルカリ乾電池、単1×2本入り	16	セット	627	10,032	10年保存
6	アルカリ乾電池、単3×4本入り	6	セット	583	3,498	10年保存
					合計	152,060

▶ 生活セット

No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	マイクロファイバー製真空パック毛布	100	枚	5,412	541,200	10年保存
2	ポータブル蓄電池、EP-200、200W	4	台	57,200	228,800	スマートフォン充電用
3	10年保存ウェットタオル250枚(体も拭ける)	6	箱	26,400	158,400	サイズ(300×700mm)
4	圧縮タオル340×850mm	100	枚	385	38,500	圧縮時(95×65×12mm)
5	レインコート#1500、材質:PVC	100	着	1,650	165,000	雨天用
6	水電池NOPOPO AM・FMラジオ	10	台	1,760	17,600	水電池付属、通常の乾電池も使用可
7	トランジスタメガホン防水、6WER-1106S	2	台	23,628	47,256	単3×4本別途
					合計	1,196,756

▶ 食糧湯沸かしセット

No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	大型やかん8L	4	個	19,030	76,120	アルミ製アルマイト仕上げ
2	カセットコンロ達人スリム	4	台	7,700	30,800	
3	カセットボンベ1箱48本入り	4	箱	18,480	73,920	食糧のお湯用
					合計	180,840

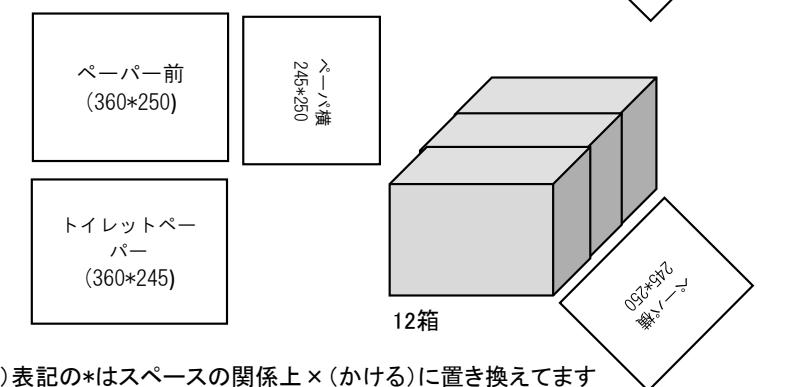
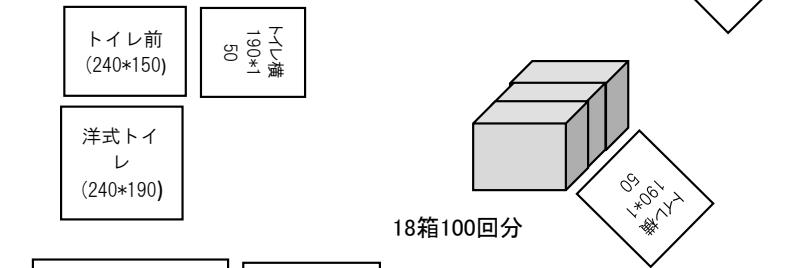
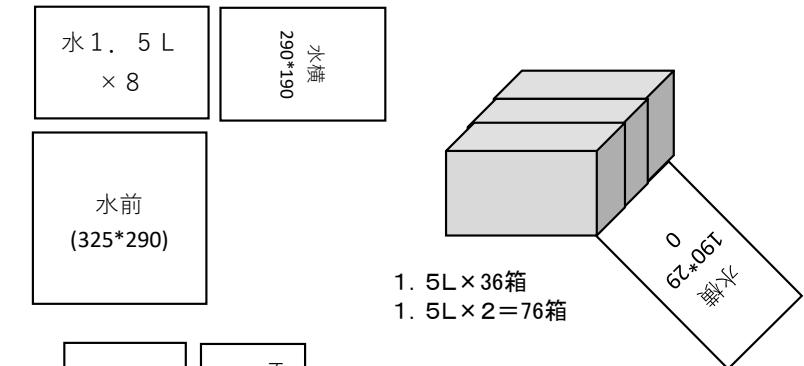
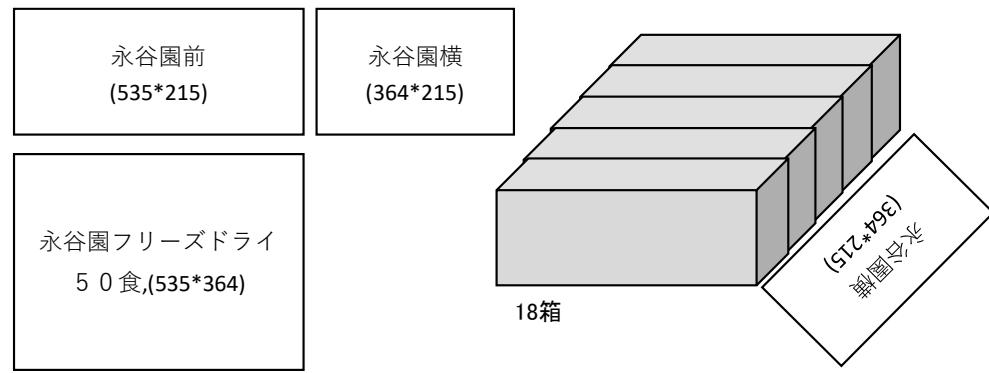
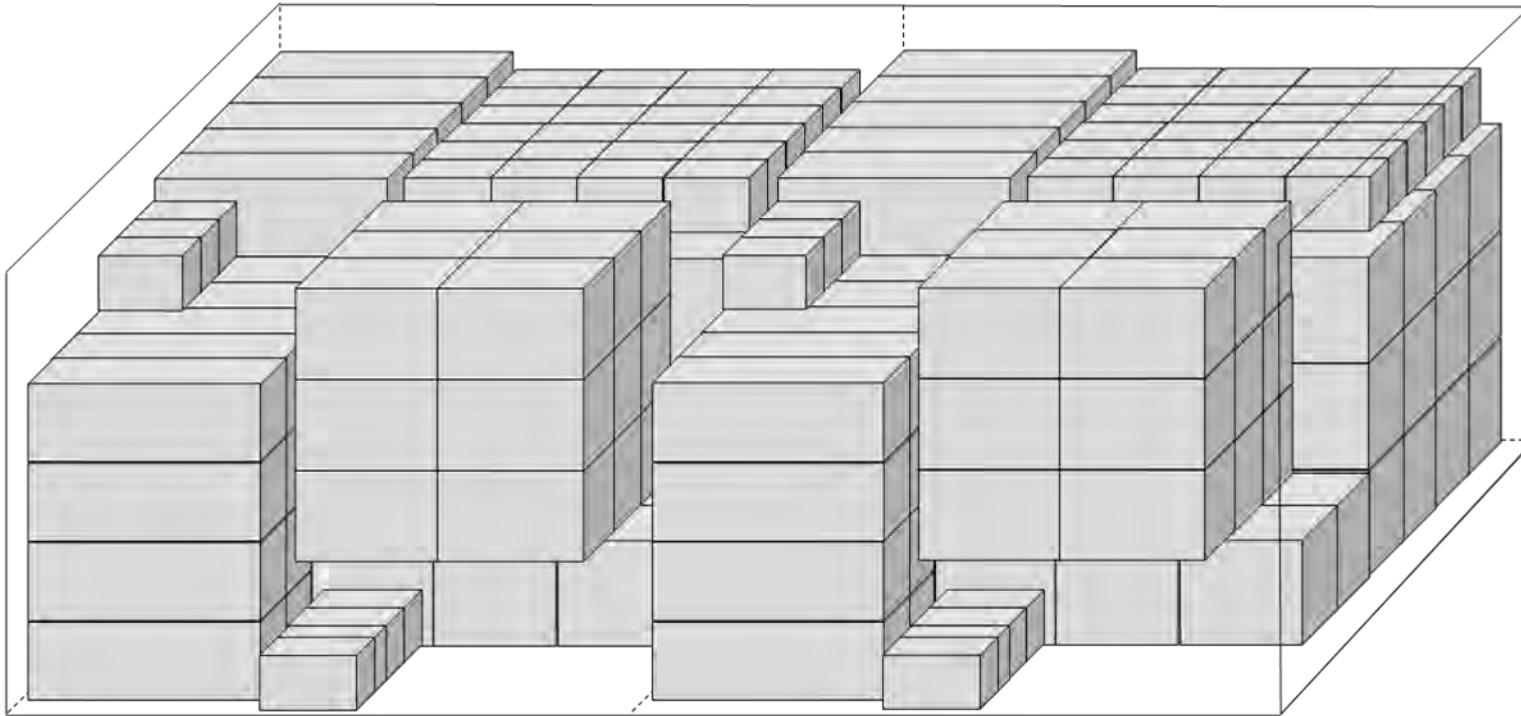
▶ 女性用(参考用)

No.	商品名	数量	単位	定価	金額	備考
1	ベルテックス生理用品10年保存	150	パック	2,640	396,000	
1パック(昼用28枚、夜用15枚)官公庁向けで製造から10年の期限がありミニマムロットが30×5箱						
					合計	396,000



収納スペースイメージ（参考資料）

段ボール収納サイズ :3200×800×1200mm



注)表記の*はスペースの関係上×(かける)に置き換えてます



オフィスレイアウトの消防法違反事例について（参考資料）

- オフィスレイアウトを考えるにあたり、考慮に入れるべき事項は多くあります。そのうちの重要な事項のひとつが消防法です。消防法は、火災や地震から国民の生命・財産を保護し、火災や地震等の災害による被害を軽減することを目的とする法律です。オフィスレイアウトの観点から、消防法とそれに違反する事例にはどのようなものがあるかを考え、そこから安全なオフィスレイアウトの構築を考えてみましょう。
- オフィスレイアウトの要と言つていいのが間仕切り・パーティションです。まず、間仕切りの設置の際に必要となるのが「消防署への届出」です。レイアウトを変更し天井までの間仕切りを建てた場合には、オフィスへの新規入居と同じく届出が必要です。届け出を怠ることは違反となります。
- 間仕切りを建てる際に考慮に入れなければならないのが廊下の幅を確保することです。
 - オフィスの廊下の幅：片側居室の廊下では内法1.2m以上、
 - 両側居室の場合：1.6m以上確保（間仕切りの設置によって必要な廊下の幅が確保できない場合はやはり違反となります）
 - スプリンクラーヘッドの場合
 - 天井高さが2.4m以上：スプリンクラーヘッド下部から床までの距離が1.5m以上
 - 天井高さが2.4m未満：スプリンクラーヘッド下部から床までの距離が0.8m以上
 - 感熱式感知器の場合
 - 天井高さが3.5m以下：感知器下部から床までの距離が0.6m以上
- 天井までの高さの間仕切りを建てる際に注意が必要なのが、火災が発生した際に消火・排煙できる構造かどうかです。天井までの高さの間仕切りを設置すると、それぞれ別々の部屋とみなされるため、消火活動に必要なスプリンクラーや火災感知器などの消防設備を増設する必要があります。また、火災が発生してしまった際の排煙のために、排煙設備の設置を見直す必要があります。排煙口は各部より30m以内になるよう設置するのが一般的で、排煙窓による自然排煙と、排煙口を排煙風道に直結させる排煙設備があります。これに違反すると考えられる事例としては、間仕切りを設置したことで排煙窓のないスペースができてしまったり、消防設備の増設をしないという事例が考えられます。
- 間仕切りの設置ひとつ取ってみても、考慮すべき点が多く発生しますが、これを怠ることでオフィスで働く人の生命やオフィスの財産が脅かされる可能性が飛躍的に上がります。また、消防法は最低限の基準を定めてあるだけなので、条文をクリアすればよいというものではありません。必要に応じて所轄の消防署が指導を行うことになっています。条文のクリアだけに留まらず、所轄の消防署に相談・確認の上、安全なオフィスレイアウトの構築に努めることで、オフィスの安全を図ることが重要となります。

ご提案内容にご興味がありましたら、後日打ち合わせをさせていただきます
ご連絡お待ちしております



連絡先

星野総合商事株式会社
担当：星野
電話番号：048-283-3911
F A X : 048-282-1999
メールアドレス：hoshinox@hoshino-z.com



補 足

上記はあくまで一例であり、ご要望に合わせて内容を変更することができます
資料作成費や納期は、ご依頼内容によって異なります 又、各商品の価格は定価であり
ご予算に応じてお見積書をいたします



注意事項

本提案は、情報提供のみを目的としており、いかなる種類の保証も含まれていません
本提案に基づいてお客様が行った判断や行動について、弊社は一切の責任を負いません